

三重県私費海外留学生体験記
西井 里奈さん（アメリカ・アイオワ州）
ローラス大学 心理学専攻

2019年1月更新

・専攻している科目の学習状況について

編入したばかりということもあり、一般教養科目を中心に履修していたため、専攻科目である心理学の授業は時間の都合上ほとんど取れませんでした。その知識や理論を応用して少年犯罪や非行を分析する Juvenile Delinquency & Justice を履修していました。

このクラスでは、主に少年犯罪・非行が起きる理由や現在のアメリカの少年法の問題点、そして更生プログラムに関して心理、社会、経済の観点から学習していきました。実際に、アイオワの少年院や少年裁判所で働いているスタッフの方々から、未成年による強盗・強姦や覚せい剤の使用に関する話を聞いたりする機会もありました。

また、神学のクラスでは、ユダヤやキリスト教の考えを学ぶだけでなく、聖書の教えをもとに家庭内の問題や末期患者のメンタル面のケアを行うセラピーがあるということを知りました。春学期は、様々な分野と心理学の共通点や関連性などを認識したうえで、リサーチなどを含む専攻科目のクラスを履修していきたいと思っています。

・ボランティアやアルバイトなど、どのような学業以外の活動をしていますか。

学内で週に15時間ほどアルバイトをしています。秋学期中は、主に平日は学内のカフェテリアで学生やスタッフの方々に食事を提供していました。学生が主体となって働いているため、同じシフトの学生とは、必然的に会話をする機会が多くありました。休日の早朝にはカस्टディアンとして寮の清掃作業をしていました。また、時間に余裕があるときは、ケータリングでもアルバイトをしていました。この仕事は、学内にあるホールで結婚式や、パーティーが行われる際に、食事を提供するだけでなく、事前に食器を配置したり、テーブルをアレンジしたりします。

現在は、冬期休暇期間ということもあり、時間に余裕があるので、ケータリングと清掃作業に加え、スポーツイベント時には大学内のフィットネスセンターの売店でよく他のインターナショナル生と一緒に働いています。

・三重県や日本の文化や習慣等について紹介する機会はありますか。

日本の文化や宗教に関して、学生、スタッフ、教授と授業外で話す機会は多々あります。特に、アイオワは内陸ということもあり、新鮮な魚を食べる機会がほとんどないので、刺身や寿司とはどういったものなのか、アメリカで売られているものとはどう違うのかと聞かれることがあります。

また、人の名前の呼び方に関する日本の文化を紹介すると、友人はすごく驚いていました。というのも、アメリカではたとえ教授や初対面の人であっても、ファーストネームで呼ぶことは珍しいことではないからです。さらに、カトリックの理念や思想を教えている教授と日本で広まっている神教や仏教がキリスト教とはどう違うのかを話す機会もありました。

2018年10月更新

・あなたの留学の目的は何ですか。

私がアメリカに留学する目的は、心理学の最先端とも言われるアメリカで、人の感情や行動分析を学ぶことです。そして、インターンシップを通してカウンセリングの技術を身につけた後、修士課程にて心理カウンセラーの資格を取り、学校・企業・病院などで悩みを抱える人々の心のケアをしていくことです。

・専攻している(する予定の)科目の学習内容について書いてください。

心理学は、人間の心や行動の関係性を、統計学など用いて科学的に研究する分野です。異常心理学では、DSM というアメリカの精神医学界において作成されている精神診断書を元に、精神障害に関する知識を身につけるだけでなく、実際の精神疾患の症状を分析し診断するケーススタディを行います。また社会心理学では、集団行動が人の意思決定にどのように影響するかを学んでいきます。加えて、薬物と人間行動、臨床心理学入門、ストレスとその対処法などの応用的な分野も学習していくことで、カウンセリングに必要な知識を身につけていきます。

・留学大学に入学するにあたり、どのような手続きやテストが必要でしたか。

入学するにあたって、特別なテストはありませんでしたが、TOEFL など英語力を証明できる書類や、志望動機・自己 PR のエッセイ、入学前に通っていたアメリカの 2 年制大学の成績証明を提出する必要がありました。また、財政証明や健康診断証明書も大学出願時に提出しました。

・留学校を決めるにあたって利用した資料や機関はありますか。

通っていた 2 年制大学の卒業生が編入した 4 年制大学の一覧を参考にしたり、“Cappex”というサイトから大学の学生数や奨学金、その他の特色を調べたりして、留学校を決めました。

・現在の留学校に決めた一番の理由は何ですか。

専攻分野に関連性の高い企業や地元のクリニックへのインターンシップ、ヨーロッパ圏への海外留学プログラムなどが留学生にも提供されているからです。

・昨年度、あなたが関わった国際交流・貢献活動について教えてください(ボランティア活動など)。

昨年度は、アメリカの 2 年制大学でインターナショナル・スチューデント・クラブに所属しており、他の留学生や現地生、教員の方々と交流する機会があった際には、日本の挨拶や礼儀、食文化などを紹介しました。